

あいご



No. 84

令和5年度

鹿児島市あいご会連合会



「広がる外のけしき」 緑丘中学校 1年 福山蒼葉木 ふくやまそよぎ

「大切」

緑丘中学校 二年 福満さくら ふくみつ

人はみな
年に何個も「大切」を
見つける

あなたは「大切」を何個もっている？

「大切」は限らない

例えば 大切な人

大切なこと 大切なもの

よく人は「大切」に気付かず

捨てていってしまっていて

「大切」はえんえんと泣いてしまう

そのかわり

「大切」を大事にすることで

明日が生まれる

今日も明日も生きられる

もう一度聞く

あなたは「大切」を何個もっている？

目 次

- <表紙絵：「うんてい」 本名小学校4年 上園 真菜 >
<絵：「広がる外のけしき」 緑丘中学校1年 福山蒼葉木 >
<詩：「大切」 緑丘中学校2年 福満さくら >

巻 頭 言	鹿児島市教育委員会青少年課 課長 吉元 利裕 氏	3
特 集	どうする あいご会 あいご会シンポジウム	4

令和5年11月22日（水）に開催したシンポジウムの内容を紹介

さまざまな活動	校区あいご会・単位あいご会・ブロック活動等の紹介	
・夏休み陶芸教室	皇徳寺校区あいご会	9
・夏の星空観察会 in 玉江	玉江校区あいご会	10
・おぎおんさあ子ども神輿体験	桜丘東校区あいご会	11
・宿泊体験活動	宇宿校区あいご会	12
・カレー作り	和田校区慈眼寺あいご会	13
・錦江湾ヨット体験	平川校区あいご会	14
・喜入ブロック子ども会大会	喜入ブロック	15
・楽しくつながろう地域交流	錦江台校区あいご会	16

あいご会連合会事業		
・理事等役員研修会		17
・令和5年度委嘱研究公開（玉江校区）		18
・令和5年度委嘱研究公開（錫山校区あいご会）		19

令和5年度あいご会連合会役員名簿等		
・令和5年度あいご会連合会役員名簿・編集委員名簿・あとがき		20

～ 巻頭言 ～

地域の力が子どもたちの未来を創る

鹿児島市教育委員会青少年課
課長 吉元 利裕



私たちが子どもの頃は、近所の「おじちゃん」や「おばちゃん」によく叱られたものです。叱られるだけではなく、いろいろなことを体験を通して教えていただきました。

子どもの生活圏を考えてみますと、乳児期は、親との関わりが中心であり、幼児期になると、少人数の大人と友だちとの関わりに広がり、そして学童期になると、さらに多くの先生や友だちと関わりを持つようになります。

昨今の状況を見ますと、この学童期の過ごし方が、昔と比べて大きな変化を見せているように思います。社会情勢の変化により、誰にでもあいさつをしなさいという指導はなかなかできなくなってきました。また、大人も子どもたちに声をかけづらくなっている実情があります。昔なら親以外の大人が教えて（叱って）くれていたことを今、誰も教えて（叱って）くれません。子どもたちは、学ばべき時に教えて（叱って）もらえずに大きくなっていくのです。とても悲しいことです。もちろん、学校では様々な経験をさせようと工夫していますが、やはり限界があります。

本課においては、「宮川野外活動センター」で主催事業を展開し、家族を超えて交流できる体験活動を推進していますが、きっかけづくりはできても、日常化に至る例は少ないのが現実です。

このような現状だからこそ、地域のつながりが大切です。昔なら自然にできていた近所の大人とのふれあいを、今は意図的に作っていく必要があります。

そこで、注目すべきはあいご会です。あいご会という組織で、地域の安心安全なコミュニティーができるのではないかと考えます。

あいご会活動では、自然体験や伝統芸能体験、スポーツ体験など様々なジャンルを経験することができます。それは単に体験活動ができるというだけでなく、あいご会の組織的、意図的な活動を重ねることで、自然に人とのつながりができ、知り合いの「おじちゃん」、「おばちゃん」が生まれるのです。子どもたちも、知っている大人であれば、あいさつだって、会話だってちゃんと行うはずで、大人だって、知っている子どもがあいさつをしなければ「どうしたの？」と声かけができるはずで、それが、双方にとってどれだけプラスに作用することかを再認識していかなければなりません。

多くの大人との関わりで、いろいろな経験をし、子どもたちは成長します。成長した暁には、きっと、自分たちの将来、更にもっと先の未来を創り出していく力を発揮してくれることでしょう。

私たちは今一度、大人同士で語り合い、子どもたちに地域のつながりの大切さや素晴らしさを、自信を持って伝えるべきではないでしょうか。

鹿児島市のあいご会は、子どもがいるいないにかかわらず、すべての市民が協力し合って、心身ともに健全な子どもを育成していくという理念の下で結成されています。そして、これまでこの理念に基づいて地域が一体となって活動を進めてきています。そのすばらしい活動が今後ますます発展していきますことを期待しています。

どうするあいご会？

あいご会シンポジウム



11月22日(水)にあいご会シンポジウムを中央公民館ホールで開催いたしました。テーマは「これからのあいご会活動のあり方～みんなが楽しむあいご会をめざして」です。6人のパネラーの方から提言をいただいたあと、会場の参加者も交えたフリートークを行いました。74名の参加者のもと、活発な討議が行われました。あいご会にはさまざまな課題がありますが、これからのあいご会活動を進めるための明るい光が差したようでした。



<司会者> 黒岩賢彦さん(荒田校区あいご会長)
<パネラー>

あいご会の課題解決に向けてみんなで知恵を出し合いましょう！

奥村龍一さん(川上校区あいご会長) 大内田友代さん(西田校区あいご会コーディネーター)
宮元加代さん(原良校区あいご会長) 久木崎多津子さん(石谷校区あいご会コーディネーター)
谷口拓也さん(桜丘東校区あいご会コーディネーター) 伊藤博実さん(元皇徳寺校区あいご会長)

<奥村龍一さんの提言>

☆ 奥村さんの校区での立場 校区あいご会長、校区まちづくり協議会事務局長

1 地域構成の変化への対応

あいご会設立当初・・・ほとんどの家庭が町内会に加入

「町内会」＝「地域全体」として扱い

現在・・・町内会加入率40%弱であり、町内会未加入世帯の分の活動資金を負担することに理解を得られない状況



鹿児島市あいご会が全市民を会員として考えるのであれば、その前提を「町内会」から変える必要があるのではないか。

アイデア・・・川上校区ではPTAからあいご会活動資金をいただくようにしている

2 年代間の意識格差について

60代以上・・・地域活動は参加して当然

30代以下・・・地域活動はあくまでもボランティア活動と考え、参加は自由である

40・50代・・・両世代の意識を理解している世代



若い世代へのアピール不足



地域コミュニティと連携を図り、地域をあげて青少年を育てる関係づくりが必要ではないかと思えます。

3 若い世代へ伝える場を工夫し理解を図る

地域活動が理解できないのは、合理化思考（メリット・デメリット）の弊害であるが、世代間で話し合う場を持ち、行事の目的などをしっかり伝えれば理解してもらえるのではないか。たとえば「あいご会の活動は何を目的にやっているのか」ということを明らかにすれば理解してもらえる。40代・50代はその橋渡しをする役割を担っている。若い世代の意見も取り入れ、どの世代も参加しやすい工夫が必要である。

4 地域負担金の金額設定

現状・・・町内会の加入世帯数で負担金を決めている。

新興住宅地で世帯数は増えているのに、町内会に加入している世帯が少ないということで負担金が少なくなっている校区がある。→ 不公平感

改善策・・・小学校の世帯数×単価で現在の負担金に近い金額で算出

<久木崎多津子さんの提言>

○ 合併当初

「子ども会」と以前は言っていたので、「あいご会って何？」という声
「小学校に子どももいないのになぜ役をしているのか？」という声



あいご会だよりを作成して配布し、「子どもがいてもいなくてもあいご会員であり、全市民で子どもを育てる」ことへの理解を図った

○ 松元ブロック役員研修会で出されたたくさんのマイナス面

- ☆ 役員の負担が大きい 小さい子どもを抱えていて夜の会合は大変
- ☆ 加入率の低下 最初から「入りません」「知り合いが入ってないので脱退します」 中学生になるとその保護者も脱退
- ☆ 習い事や、行事の重なりで参加者が少ない



皆さん自身がそれぞれの地域で楽しんでほしい、子どもたちが楽しめるあいご会であつたらいいと思います。

1 子どもたちに企画・運営をさせる

子どもリーダーを昼休み時間や第2土曜日を利用して話し合いをしている。
放送やあいご会掲示板等を利用して参加の呼びかけや役員への連絡をしている。

2 中学生の参加は厳しいが、中学生リーダーが企画運営する行事を1つ実施

- ・「リーダーをしたい人」を募り、10名が手を挙げてくれた
- ・夏休みに「中学生スポーツ大会」「ごみ拾いボランティア」を実施
- ・ボランティア活動をすることで「地域の貢献」

3 あいご会役員の負担をなるべく少なくする

- ・あいご会役員会をPTAのあとに実施する。
- ・当番を決めるなど役割分担をして活動を実施する。
- ・マイナス思考でなくプラス思考であいご会活動を進めてもらう。



<宮元加代さんの提言>

○ 宮元さんの立場

- 3人の子育て真っ最中である。あみだクジであいご会長をすることになった。
- あいご会の話し合い等は週末や夜が多いのでフルタイムで仕事をしている自分にとって、自分の子どもたちと過ごす時間が減少してきている。

1 私のような環境であいご会活動に関わっていることを理解してもらいたい。

2 いろいろな方との出会いから心に響いた言葉

「できる人が できることを できるだけ」

「行事をすることが目的ではなく、参加して下さる方が楽しんで下さることを考えて」

いろいろな人があいご会活動に関わり参加している



同じ方向を 同じ目的をもって活動を進める



不平不満は少なくなる。

3 活動事例

ふれあいスポーツ大会

- ・気軽に参加できるよう工夫
- ・多くの人にあいご会の活動を知ってもらう

伝統行事「鬼火たき」の準備

- ・OB や地域の方の協力をもらう
- ・「私も手伝いたい」と申し出てくださった方への役割分担



原良校区あいご会
宮元加代

私たちが楽しく活動している姿を見ていただくことで「活動に参加したい」という人が増えると思います。シンポジウムで学んだことを次の人に伝えたい。

<谷口拓也さんの提言>

1 あいご会を楽しいイメージにする。

興味のある活動を目指す 無理をせず無理をさせずに活動する

あいご会を楽しむステップ

- ① 子どもの参加している行事を見学してその場を楽しむ
- ② 子どもと一緒にイベントに参加してその場を楽しむ
- ③ イベントの係をしてその場を楽しむ
- ④ イベントの計画立案を楽しむ（役員）
- ⑤ 数年のあいご活動を通して子どもたちの成長を楽しむ（役員）

2 桜丘東あいご会の活動

- ① 期待される活動を目指す
- ② 参加者が楽しみ役員や係も負担なく楽しめる活動を目指す

あいご会活動の変化

	以 前	現 在
組 織	① 単位あいご部長が集まり、校区あいご会を結成し、役員を選出 課題：単年交代で発展が難しい ② 学校あいごコーディネーターが計画内容を把握し中心で活動 課題：校区活動でなく教師の負担大	① 校区あいご会として有志を募り、役員を配置。単位あいご部長も役員として参加 改善や発展あり、単位あいご部長の負担軽減 ② 校区あいご会が中心となり活動 → 活動について話し合う機会が増加 教師の負担が軽減



桜丘東校区あいご会
コーディネーター
谷口拓也

役員や係の人が負担を感じていたらあいご活動は難しい。役員の負担を減らし、あいご会活動を楽しんでもらえる環境作りが大切だと考えます。

活動	① 町内会加入者への参加募集 → 子どもたちに区別をつけてしまう ② 基本的に前年度と同じ内容 → 活動がマンネリ ③ 担当を先に決めていた → 仕方なく係のみでの参加があった	① 校区民全員に案内を実施 → 町内会未加入者もあいご会活動に興味を持つ 校区民に区別がなくなる ② 実績や感想をもとに改善 → 参加関心をもってもらえる ③ 参加者に声をかけ係の手伝いを依頼 → つながりができ、意見も聞ける
----	---	---



おぎおんさあみこし
(R5年度)

<大内田友代さんの提言>

- あいご会コーディネーターとして13年関わってきている。
- コロナ禍の3年間
 コロナ禍で活動が自粛 → 世の中の事情
 役員のなり手、時間をとられる、引き継ぎ → 大人の事情



子どもたちが自分たちを発信できない事態

1 子どもたちが発信できる場を作る

子ども役員 (約40名)・・・年に8回ほど子ども役員会を開催
 ・「コロナ禍で何かできないか」と子ども役員に伝える

「校区内を応援しよう」という取組

応援したい所を出し合い、メッセージを書き、それを届ける活動



子どもたちが自分たちで考え、話し合い、自分たちで行動する。
 メッセージを受け取った地域の人たちに感謝される。
 子どもの言葉、子どもの目に教えられることも多い。
 一つの活動が1年間を通して実施できる。
 (グループを作る→計画を話し合う→準備をする→実施する→壁新聞を作る)
 たくさんの行事をするのではなく、何か一つでも子どもたちに取り組みせる活動を!



子どもたちにさせる雰囲気と時間を与えるのが私たちの仕事

形を変えてでも続けることが大きな力になる

2 4年ぶりにバザーに替わる「西田っ子まつり」を開催

- ・子ども役員会で7種類のゲームとルールを決めさせ、担当を決め運営する。
- ・大人はそれぞれに数名ずつ配置し、子どもを応援する。
- ・子どもがゲームのルールを教えている姿は非常に誇らしく思えた。
- ・子どもは嬉しいこと知っていることを誰かに伝えることが大好きである。



西田校区あ
コーディネーター
大内田友代
私たち大人ができることは形を変えても続けること。子どもに機会を与えること。子どもに考えさせること。子どもは人に教えることが大好きだということ。大人が気づくこと。

・小さな町内会から役員となり出てきている子が、学校ではあまり目立たないけど、運営担当として生き生きと活動している。 → 子どもの違う面を見ることができる

場を与えるのがあいご会

3 一つの言葉を大事にして思いでづくりを

- ・親の役員・・・あいご会に関わり、家族を犠牲にするときもある。大変である。
- ・子どもと一緒にいるとき「ありがとうね、お母さん。とてもありがたかった」と言うようにしている。

家族やいろいろな人たちを巻き込んだあいご会

・あいご会活動が思い出づくりになってくれたらいい

1 ページでなくても、1 コマになったらいい



現在のあいご会は何年か前と現状が変わってきたと感じている。現状にあったあいご会活動を進めていただきたい。

<伊藤博実さんの提言>

- 平成19年度から平成28年度まで10年間あいご会長を歴任 連合会の広報部長もさせていただいた。

1 あいご会の原点に振り返る

- ・昭和36年にあいご会が発足

発足当時は「愛護会」と漢字で表記していた

・あいご会宣言

- ① 子どもの幸せを願うのは、自然の親心である。
- ② 隣近所仲良く助け合うのは、市民生活の根本である。
- ③ 次代になう子どもたちを健全に育てるのは市民の連帯責任である。

・あいご会とは

- ① 子どものあるなしにかかわらず、全市民がすすんで協力し、心身ともに健全な子どもを育てる組織である。
- ② 子ども会の育成母体である。

- ・現在は育成母体となっているかどうか？

・町内会から1人30円の負担金となっているが、果たして何人の人がこのことを知っているのか疑問である。

2 あいご会の広報について再検討が必要

ホームページがあったが、どうなっているのか。

市民にもっとあいご会のことを知らせるべき

- ・ホームページはあるが、「あいご会」と打ち込んでもグーグルの検索に引っかからない。QRコードから入る。
- ・ホームページのリニューアルを行っている。(事務局)

<フリートーク> フリートークで出された主な意見

- あいご会の会長・コーディネーター・部長等の選出の件 分かっている人が継続できるのが望ましい
- あいご会は子ども会の育成母体なので、使い分けが必要
- コミュニティ協議会とあいご会の関係構築
- 学校あいご会コーディネーターの負担軽減



夏休み陶芸教室開催！



7月24日(月)、25日(火)、28日(金)の3日間、町内にある岩元陶房さんで夏休み陶芸教室を開催しました。幼児4名、小学生14名、指導者及び大人9名が参加しました。15年以上前から続けている1丁目1区あいご会の恒例行事ですが、新型コロナウイルスの影響で3年間開催が見送られていました。コロナが5類に引き下げられたこともあり、今年こそは開催しよう！と開催日を分散し、手軽に陶芸が体験できるようにマグカップの製作にしました。

親子で参加されたり、おばあちゃんと一緒に参加されたり、子どもも大人も陶芸を楽しむことができました。



難しいなあ(>_<)

出来上がりが楽しみ♪



お母さんもお手伝い！



大人と違って子どもたちの作る作品は、直感的でユニーク、とても自由。大人だと迷ったり考え過ぎたりがあるが、子どもたちは素直に作品作りに取り組みますね。と、岩元陶房の先生がおっしゃっていました。

世界に一つだけの作品を大切にしたいです。

【皇徳寺校区1丁目1区あいご会長 鳥越 美紀】

【玉江校区あいご会】

令和5年度 玉江校区あいご講座

夏の星空観察会in玉江

8月18日(金)の午後8時から、玉江校区あいご講座・夏の星空観察会in玉江が開催され、たくさんの児童・保護者が参加して夏の夜空を楽しみました。最初に体育館に集まり、開会行事の後、玉江小学校の理科担当の先生から「星座盤」について、各家庭ごと実物进行操作しながら使い方を確かめました。次に、鹿児島市立少年自然の家よりお越しいただいた講師の先生から、今の季節に見られる星座について詳しく教えていただいたあと、実際に校庭に出て夜空を見上げました。



講師の先生による
星座や天体望遠鏡の
おはなし



さあ、校庭へ!



夏の大三角のベガやデネブ、アルタイル、さそり座のアンタレス、うしかい座のアルクトゥルスなどを確かめることができました。

後半は雲がかかってきてしまいましたが、夜の学校の校庭に集い、夏の星空についての理解を深め、自然の雄大さを感じることもできたとても有意義な時間となりました。

【玉江小あいご会コーディネーター 曾田 陽菜子】

【桜丘東校区あいご会】

おぎおんさあ子ども神輿体験

桜丘東あいご会では、鹿児島県の伝統的なお祭りであるおぎおんさあの子ども神輿に参加しました。他の団体とともに天文館電車通り（歩行者天国）を子どもたちが元気に神輿を担ぐ姿はみんなに元気を与えられたと思います。参加した子どもたちも同行した大人の方々も協力しあい元気に楽しく思い出に残る活動になりました。



元気はつらつ
頑張るぞー！

わっしょい！
わっしょい！



わっしょい！
わっしょい！

暑い中でしたがみんな
で力を合わせて、息
を合わせて、最後まで
元気よく頑張りました

代表でご神幸
改めであいさつ
をしました



最高の思い出に
なりました



参加された方々から、とても良い活動でまた参加したいとの多くのお言葉をいただきました。今後も子どもたちが少しでも成長できる活動、子どもと大人と一緒に参加できる活動、子どもたちが自分たちで考えて実施する活動等を実施していきたいです。

【桜丘東小あいご会コーディネーター 安達 泉】

【宇宿校区あいご会】

宿泊体験活動



令和5年7月22日（土）～23日（日）の1泊2日、宮川野外活動センターにて、「宿泊体験活動」を実施しました。小学1年生から中学1年生まで、21名の子どもたちが参加しました。

2日間とも天気に恵まれ、バーベキューや花火、川遊びなど、異年齢の子供同士楽しく活動することができました。初めはクーラーのない部屋や、虫がいることに慣れない様子でしたが、不便な生活も互いに知恵を出しながら乗り越えていました。ファイヤースターターを使った火起こし体験や、川での水鉄砲合戦など、普段、宇宿ではできない活動ばかりで、子どもたちは、非日常を味わえたようでした。

～ 活動の様子 ～



【宇宿小あいご会コーディネーター— 高平 紗梨菜】

【和田校区慈眼寺あいご会】

慈眼寺あいご会 カレー作り



令和5年11月19日（日）宮川野外活動センターにてカレー作りを実施しました。
コロナウイルス感染症が流行した影響により、小学校で調理実習を行うことができていないことから、高学年を中心に役割分担をしてカレーを作り、一緒に食べて楽しんでほしいと思い企画しました。幼児3名、小学生8名、中学生1名、保護者9名の合計21名が参加しました。釜戸を使って飯盒でご飯を炊き、カレーを作りました。



カレー作りスタート♪



【子ども達の感想】

・友達と一緒にカレーを作るのは初めてでどうなるのか、上手くできるのかな？と不安だったけど、米を炊いたり野菜の皮を剥いたり切ったり炒めたり予想以上に上手くできました。釜戸を使った火起こしは初めてで、なかなか薪に火が点かず苦戦しました。火が点いてからは、うちわで仰いで徐々に火が強くなりました。途中、炭が舞ったり煙がすごくて目が痛くなったので友達と交代しながら頑張りました。友達と楽しく美味しくできて良かったです。
・今日は、とても楽しかったし、皆で協力しながらカレーを完成させたのがとても嬉しかったです。また、やりたいと思ったし、料理にちょっと興味を持ちました。料理を家で作る時には、お手伝いをしたいと思います。
・昔の人は、3時間ぐらいの料理を毎日のようにしていることにビックリしました。色々なことを学びながら皆で協力して野菜を切るなどして楽しかったです。今日は、美味しいカレーを食べていい気分になりました！

【保護者の感想】

・子ども達がとても積極的に参加してくれました。友達と協力して行うことにより大変なことも楽しむことができたり、皆で作ったカレーは、いつもより美味しく感じたりと協力して行うことの大切さを実感してくれたと思います。
宮川野外活動センターは、環境が整っていて活動を行いやすく、釜戸の火越し体験もでき良い経験になりました。天候にも恵まれカレー作りも大成功！楽しい良い思い出になりました。

【慈眼寺あいご会長 森田知子】

錦江湾ヨット体験

豊かな海と山に恵まれた平川校区は10年ほど前から錦江湾でのヨット体験を行っています。会場は錦江湾の中でもヨットが50年以上栄え、かごしま国体のセーリング会場にもなった「平川ヨットハーバー」。

橋元幸一先生率いる鹿児島ジュニアヨットクラブに協力してもらい、2023年6月24日、初夏の風の中、数時間のセーリングを体験し、楽しみながら海上での安全面や危険性についての学習をしました。

子どもたちからの感想もあり、コロナ禍で4年ぶりとなった開催は、子どもたちが外で、海で思い切り体を動かす機会にもなり、みんなとても楽しそうでした。錦江湾の海上から自分らの住む平川を見られる貴重な経験を経て、地元の海をまた一段と好きになってくれたことと思います。



感想

- ・4年ぶりに乗るヨットは小学校の時のヨット体験を思い出させてくれました。ヨットから見る桜島は普段見ている景色と一味違い新鮮味がありました。またこのような機会があれば参加したいです。 (福平中1年 西田 楓)
- ・僕は水が苦手なヨット体験に行くのは緊張したけど、海で友達とヨットや船に乗って体験するととても楽しかったです。平川の海が好きになりました。 (平川小5年 田中煌翔)
- ・初めてヨットに乗りとても楽しかったです。海から平川を見られて嬉しかったです。 (平川小3年 川原勇心)

92名の参加者があり、錦江湾から平川の町並みを見ることができました。



【喜入ブロックあいご会】

喜入ブロック子ども会大会

1月3日(金)9時から喜入小学校体育館にて、喜入ブロック子ども会大会を行いました。喜入地域(瀬々串、中名、喜入、前之浜)の小学生が集い、異年齢での交流や親睦を深めました。

当日は、濱田章吾トレーナーをお招きし、音楽に合わせて頭と体を使って運動するパーソナルトレーニングを教えてくださいました。最初は「簡単!」と書いていても、だんだん大人でも難しくなる動きに悪戦苦闘…。しかし、何度も挑戦して失敗したからこそ、できたときの喜びや楽しさを心から感じられる素敵な時間となりました。また、子どもだけでなく、親子でできるトレーニングや、保護者の皆様や地域の方々、教員も参加できる競技を準備していただき、大人も子どもも楽しむことができました。



【高学年 MVP】

喜入小学校
松木 奈々香さん

【中学年 MVP】

瀬々串小学校
堀脇 周さん

【低学年 MVP】

瀬々串小学校
大磯 朝日さん

最初に自己紹介をしました。

当日は小学生23名の参加でした。来年度は、より多くの子どもたちに参加してもらえるよう、活動内容を詳しく示したり、各校区の行事と重ならないように配慮したりしていきます。人数が少なかったからこそ、トレーナーにマンツーマンで教えていただいたり、一人一人が満足いくまで挑戦できたりといったよさもありました。体調不良やけが等なく、無事に終えられたことを嬉しく思います。今後も、他の学校や地域の方々とのよき交流の機会となるよう、活動を充実させていきます。

【喜入小あいご会コーディネーター 吉村 菜月】

【錦江台校区あいご会】

楽しくつながろう地域交流 錦江台あいご会

錦江台小学校ではしばらく活動を休んでいたあいご会行事を今年度は徐々に活動を再開させてきました。11月にはミニリンピックが実施され学年の違う友だち同士での楽しい交流ができました。

【笑顔溢れる障害物競争】



【あいご会が中心となり子どもたちもみんな楽しめた〇×ゲーム】



【やっとできた菓子とり競争】

【みんなでおにごっこ】

【大人もがんばったつなひき】



【役員の子どもたちの感想より】

- 最初は、乗り気ではなかったが、たくさんの参加者がいて楽しそうでした。来てくれた参加者も、話をよく聞いてくれたので、役員側も楽しむことができた。参加してよかったと思った。帰るとき、みんな笑っていたから実施できて良かったと改めて思った。
- 菓子とり競争が一番楽しかったです。他にも、楽しい競技がたくさんありました。とても楽しい一日を過ごすことができました。

【錦江台小 あいご会コーディネーター 古川紅子】

子どもと共に、地域に楽しみ、地域で育つ

令和5年10月25日(水)の理事等役員研修会に各校区からあいご会長やあいご会コーディネーターなど82人が参加されました。名山町あいご会の子どもたちと名山新聞を発行されている門間ゆきの人に講演をしていただきました。



講師紹介

「自分たちのまちを自分たちが知る」をテーマに、鹿児島市名山町で子どもたちと町内の人々取材する「名山新聞」を月刊発行している。2023年8月で創刊3年。令和5年10月現在37号発刊。

1993年生まれ、愛知県名古屋市出身。京都大学総合人間学部卒業後、2017年に鹿児島の南日本新聞社に就職。2021年4月からフリーランスとなり、一般社団法人テラボ・九州地域間連携推進機構株式会社で、「九州移住ドラフト会議」や「九州卒業論文コンテスト」など、地域と人に関するイベントやワークショップを企画・運営している。

趣味は旅で、持ち歌は自作の「名山のうた」と「名山新聞のうた」。

名山との出会い

- ・フィールドワークが好きでこれを生かす仕事がしたい。→ 新聞社はどうかな？
- ・南日本新聞を見て鹿児島の魅力(山・海だけでなく火山・離島・宇宙) → **これはすごい!**
- ・記者募集の広告を見て就職試験に挑戦
- ・就職試験の最中に名山堀の居酒屋の女将さんにほれ、就職が決まってから住むことになる。
- ・青年会のメンバーとなる。

子ども中心の新聞づくり

- ・子どもたちと月1回取材活動に行く。
 - ・あいご会活動の一環で参加したい子(現在10名程)
 - ・取材先の子習・質問→取材→記事を書く→記事発表
 - ・子どもたちの変容(人見知り→積極的、取材力やまとめる力向上、名山町への興味・愛着・誇り)
 - ・子どもたちの活動が新聞等で紹介→町に応援する力
- あくまでも子ども中心に、興味にまかせ、楽しく**

名山新聞発行のきっかけ

- ・「**名山のことをもっと知りたい**」というのが発端
- ・コロナ禍 → イベントがない、何も楽しむことがない
- ・名山に来てもらうことがないので「**名山のことを知ろう!**」
- ・取材に連れて行ったあと3年生の女の子の一言
「**6年生までこの活動をやりたい**」
- ・町内会の長の人たちを集めて新聞づくりを直談判
- ・通り会の会長「**これまでにないおもしろそうなことなので応援しよう**」 → 印刷費など出してもらうことになる

今後の展開

- ・長屋をリノベーションして名山新聞編集室や名山博物館、案内所の機能をもった「**めいざんち**」を作る。
町内の人も外の人もふらっと寄ることができる。
子どもたちが宿題をしたり、新聞を作ったりできる。
- ・子どもたちに感じてほしいこと
地域との自分なりの関わり部分を見つける
人や地域との関わりは楽しい、つながりは自分を助ける

【玉江校区あいご会】

- 1 期 日 令和6年2月10日(土)
2 会 場 鹿児島市立玉江小学校体育館
3 研究テーマ 「笑顔がつなぐ 玉江の絆」
～みんなが楽しむあいご会～
4 参加人数 184名
5 公開概要



(1) はじめに

近年の急激な社会の変化に伴い、少子高齢化に伴う子どもの減少、共働き家庭の増加による保護者の多忙化、ネット環境の普及による人間関係の希薄化など、子どもを取り巻く環境も変化してきている。

そこで、地域のよさを知り、人と関わることや地域で活動することの楽しさを実感できるあいご会活動の充実を図ることが必要であると考え、今回のあいご会研究公開の貴重な機会に以下のような取組についてふり返り、成果や課題を整理するとともに、今後ますますあいご会活動を活性化していきたいと考えた。

(2) 研究テーマ設定の理由

市民憲章「わたしたち鹿児島市民は、みんな助け合って子どもたちの幸福を守りましょう。」、あいご会宣言「①子どものしあわせを願うのは、自然の親心である。②隣近所仲良く助け合うのは、市民生活の根本である。③次代をになう子どもたちを健全に育てるのは、市民の連帯責任である。」を受け、玉江校区コミュニティ協議会や町内会と連携した活動に地域住民・子どもたちが楽しく笑顔で積極的に参加し、絆が深まることを願って、『「笑顔がつなぐ 玉江の絆」～みんなが楽しむあいご会～』という研究テーマを設定した。

(3) 各单位あいご会の実践

玉江校区17の単位あいご会が、それぞれ年間活動計画を作成し、六月灯の灯籠作りや甲突川や幸加木川のこいのぼり設置など、地域行事等と密着した活動を実施している。敬老会やおはら祭参加など、地域の方々と交流を深める取組や七夕祭りや十五夜、クリスマス会など、季節の行事も毎年楽しく行われている。今回の発表を機に、保護者の方々が中心となって企画・運営していた行事を、子どもたちが中心となって運営する方法を模索しているところである。



(4) 校区あいご会の実践

7月30日(日)に開催された玉江校区体育大会では、児童の部のドッジボール(低学年の部は転がしドッジボール)や一般の部のミニバレーで大いに盛り上がった。90名ほどの中学生も出席し、審判を務めた。上位入賞チームには、お菓子トロフィーや地域の温泉入浴券なども用意され、楽しいひと時を過ごすことができた。



8月18日(金)には、玉江校区あいご講座・夏の星空観察会in玉江を開催し、たくさんの親子が参加して、玉江小の理科担当の先生による星座早見の使い方の説明や鹿児島市立少年自然の家からお越しいただいた講師の先生による夏の星座にまつわる話、天体望遠鏡の使い方の説明を聞いたあと、実際に夜の校庭に出て星空を眺めた。

(5) 学校・校区コミュニティ協議会・各町内会との連携について

玉江校区コミュニティ協議会では、各部ごとに様々な活動を計画して実施している。右のような子どもが参加する活動には、「できるときに、できる人が、できることを」を合言葉に、各あいご会にも呼びかけて、参加者を募っている。

- 7/15 グラウンドゴルフ大会
- 8/17 「リビング防災+減災プロジェクト」ワークショップ
- 9/30 玉江親子体操教室
- 11/ 5 地元消防団とのふれあい活動
- 11/25 フライングディスク体験講座
- 12/ 2 地域ふれあいデー・もちつき大会

(6) おわりに

今回のあいご会研究公開の実施にあたり、改めてあいご会活動の意義や大切さについて認識を深めることができた。グループ協議で出された貴重な意見をもとに、校区コミュニティ協議会や各町内会、PTA、学校行事等とタイアップした活動を玉江校区あいご会の年間計画にも位置づけ、心身ともに健全な青少年の育成に努めていきたい。



【玉江小学校教頭 有川 武】

【錫山校区あいご会】

- 1 期 日 令和6年2月23日(金)
- 2 会 場 鹿児島市立錫山小中学校体育館
- 3 研究テーマ 「過去があり 未来がある だから現在(いま)」
～よりよいあいご会を続けるためにどうあるべきか、現在を見つめ 現在を動く～
- 4 参加者 80名
- 5 公開概要



《趣旨》 錫山校区あいご会は、過疎化が進み人口減少に悩んでいる。人口構成も極端な高齢化と児童生徒の減少などの課題がある中、校区内のあいご会員、特認校制度を利用した児童生徒、保護者とともに活動している。しかし、少子高齢化、生活様式・居住エリアの多彩化など多くの課題解決の見通しが立たない中、今後、錫山あいご会が活発かつ効果的に活動するにはどうあるべきか、改めて自問し皆さんの力をお借りしながら、よりよい錫山あいご会へと成長することを目指すものである。

《考え方》 現在の様々な実情の中で、これまでの活動内容・方法では実施に無理が生じてきた。以下の視点で見直し、今後につなげていきたいと考えた。

- ・ 多様化している子どもたちがよりよい方向へ向かえる活動か？
- ・ 子どもたちが主体で、子どもたち同士で話し合いができる活動になっているか？
- ・ 大人のための行事になっていないか？
- ・ 過去（人数が多かったとき）に企画したままの行事や組織図になっていないか？
- ・ 行事の名称（言葉の意味なども含めて）が今の実態にあっているか？
- ・ 今の体制で実現可能か？



【地域夏祭りに向けての灯籠作り】



【地域夏祭り出演】

介)

8月下旬のふれあいスポーツ大会は子どもたちが進行を行います。



【ふれあいスポーツ大会】

地域の夏祭りや敬老会にあいご会として参加します。

《今後の課題》

- 校区民および児童生徒が急激に減る中で、今後、どのように計画を立て実施していけばよいか模索中である。あいご会・地域・PTA・学校が一緒になった協議を重ねながら、児童生徒主体で持続可能なあいご会活動を今後も考えていきたい。
- あいご会組織の利点を生かし、これまでPTAと地域が連携して実施していた資源物回収等の活動について、来年度よりあいご会も協力し、回収車の手配や回収作業も行う計画である。実施後の反省を集約しながら、その他のPTA活動のサポート体制も構築していきたい。

【錫山小中学校教頭 和田 誠也】

【令和5年度 鹿児島市あいご会連合会役員名簿】(令和6年1月現在)

役職	氏名	校区名	役職	氏名	校区名
会長	西村 光行	山下	常任理事	迫田 正広	小山川
副会長	森田 眞一	向陽	〃	重久 公香	山洲
〃	外城 戸昭	福平	〃	本村 信治	桜春
〃	柿元 まり	和田	〃	加藤 裕子	山谷
常任理事	木場 田久	本城	〃	福元 義弘	山中
〃	久保 清美	郡山	〃	下田 正美	喜入
〃	遠矢 仁司	坂元	監事	坂尾 加代	西陵
〃	萩原 功一	名武	〃	南 下 静	坂元
〃	小山 千晶	岡武	〃	山 下 頼	武
〃	小若 松竜	西紫	事務局長	山 元 保	

【あいご会専門部組織】

役職	総務部		研修部		広報部		育成部	
	氏名	校区名	氏名	校区名	氏名	校区名	氏名	校区名
部長	米山 太助	玉山	松下 剛	大龍	田中 建男	東谷 山	黒岩 賢彦	荒田 田
副部長	福元 義弘	中山	池田 知紀	大龍	迫田 正広	小山川	坂元 雅豪	平南 元
〃	川畑 仁司	本名山	米森 清信	宮上	遠矢 仁司	坂元 清	種子 島俊	一郎 典
〃	久保 清美	郡山	奥村 龍一	川西	日渡 麻美	坂元 清	萩原 功一	博典
〃	東屋 敷壕	大明	柏木 純孝	宇宿	宮元 加代	原松 中	崎元 和	信治
〃	岡山 千晶	武岡	小西 恵里	東嶺	久永 美保	良治 喜	元村 佳	田村 順
〃	重久 公香	桜洲	吉元 健児	錫平	寶來 まり	正美	霜出 佳	本村 順
〃	原口 信博	東昌	内木 場司	宮瀬	下田 正	美	藤本 順	
〃	高橋 知子	錦江						
〃	前原 博明	中名						

【校区あいご会連絡協議会会長・あいご会コーディネーター(小学校・校区)】

No.	校区名	あいご会長	あいご会コーディネーター		No.	校区名	あいご会長	あいご会コーディネーター	
			小学校	校区有志				小学校	校区有志
1	吉田	西屋敷 純子	坂元 江利子	山下 郁美	28	田上	徳永 真輔	森谷 彩加	脇重 伸
2	本名	川畑 仁司	濱田 智美	吉永 兼蔵	29	西陵	鬼谷 香奈	盛岡 みなと	萩野 名美
3	宮	米森 清信	脇みどり	北園 順子	30	広木	徳利 浩司	田中 春名	榎 蘭
4	本城	木場 田久	井上 徹郎	—	31	中洲	保岡 宏武	神崎 はづき	上 香織
5	牟礼	岡	河野 佑太	高森 里奈	32	荒田	黒岩 賢彦	上原 口正	原 透
6	南方	福元 雅恵	中村 昌裕	上園 幸乃	33	八幡	田中 栄一郎	下村 淳一郎	今村 聖子
7	花尾	大平 法子	松尾 寛子	—	34	中郡	寶來 良治	溝上 愛梨	南谷 公一
8	郡山	久保 清美	上村 幸右	松下 順子	35	紫原	竹之内 哲義	篠原 佑太	丸峯 正史
9	川上	奥村 龍一	江口 主勝	春山 昭則	36	西紫	若松 竜太	嶋田 彩那	石倉 奈美
10	吉野	北原 英樹	鶴狩 道子	奥山 みえ子	37	鴨池	伊達 三男	北田 実優	高島 英夫
11	吉野	東松崎 達朗	山田 萌々	南 琢磨	38	南	古川 大史郎	吉満 友里伽	井上 ひろみ
12	大明	東屋敷 壕	岩崎 美月	中馬 知子	39	宇宿	柏木 純孝	高平 紗梨	橋口 三知
13	坂元	遠矢 仁司	川原 園紘	大木 場真一	40	向陽	森田 眞一	丸尾 響城	中野 恵津子
14	元台	種子 島俊也	野村 優亮	南 静乃	41	伊敷	鶴田 利一	中 蘭 紀愛	西 里 沙久
15	清水	日渡 麻美	東 愛里	岡尾 浩一	42	花野	中野 則昭	山下 弓絵	船木 輝久
16	大龍	松下 剛	安原 楓	中園 悦子	43	西伊	敷 和嗣	徳田 渚沙	米倉 佐和
17	名山	萩原 功一	小村 拓矢	松田 武泰	44	伊敷	瀬戸 口加純	柏木 良々	北 いずみ
18	山	西村 光行	福寿 克久	久保 健市	45	玉山	米山 太助	曾田 陽菜子	中間 亜希
19	松原	岡部 高之	日高 愛美	田地 行真	46	山田	迫田 正広	宮下 理沙	上原 健博
20	城南	安楽 万里	宮田 優里	吉住 さおり	47	犬	皆与 志末	文 廣道	上 正彦
21	草牟	黒木 秀一	出口 優里	祝 真一	48	皆与	志末 満文	大戸 里慎	—
22	原良	宮元 加代	喜島 宏仁	宮原 希	49	東桜	小西 恵里	大 戸 里	—
23	明和	瀬戸 口博恵	中山 桃香	由紀	50	改新	有馬 孝志	—	岩元 美孝
24	武岡	柿山 眞美	亀甲 有沙	横 麻美	51	黒神	浦口 幸子	浦口 真樹	—
25	武岡	小山 千晶	新地 未悠	川元 達子	52	桜洲	重久 公香	大迫 愛子	萩原 貞信
26	西田	崎元 博典	河野 利通	大内 田友代	53	桜峰	石谷 大輔	肝付 寛人	柳田 知美
27	武	坂口 梨絵	柿 生子	坂口 哲朗	54	松	元 久永	美保 中屋	真衣 木場

No.	校区名	あいご会長		あいご会コーディネーター		No.	校区名	あいご会長		あいご会コーディネーター	
		小学校	校区有志	小学校	校区有志			小学校	校区有志		
55	東昌原	信博	池田克俊	打越真純	68	桜丘西	西村良夫	緒方菜々子	中村善美		
56	春山本	信治	森満勝幸	齋藤美枝	69	桜丘東	有留雄一郎	安達冬未	谷口拓也		
57	石谷福	紀子	鹿毛陽平	久木崎多津子	70	星峯西	三反園輝男	宮下昭博	福永香織		
58	谷山加	裕子	山本加恵	吉留栄美	71	星峯東	鈴木健吾	井手昭博	北山清悟		
59	西谷山	政行	野島由華	福永雅子	72	宮川	永田晋平	森本千晶	枇杷沙紀		
60	東谷山	建男	和田竜希	塩屋泰子	73	皇徳寺	水口博子	今村春菜	芝勝代		
61	清和田	霜出佳寿	田坂鈴香	関博文	74	瀬々	内木場司	鎌田しのぶ	井上博美		
62	和元	まり子	濱崎絵梨	有馬浩幸	75	中喜	前田正美	吉村菜月	前畑美果		
63	錦江台	高橋知子	古川紅子	小山田真由美	76	前之	下田真弓	綾部弘子	鈴山幸子		
64	福平川	外城戸昭一	前田千花	古川洋人	77	生見	大迫和博	三石百合子			
65	平川	坂元豪	松下夢羽	大野雅士	78	一倉	藤本順子	所崎直子			
66	錫山	吉元健児	西健太郎	萩原孝司	79						
67	中山	福元義弘	徳田沙耶香								
		あいご会長78名		小学校あいご会コーディネーター78名				校区有志あいご会コーディネーター73名			

【あいご会コーディネーター名簿(中学校)】

No.	中学校名	コーディネーター	No.	中学校名	コーディネーター	No.	中学校名	コーディネーター
1	吉田北中	松下隼也	14	武陵中	四元千菜	27	桜島中	前原崇広
2	吉田南中	岩崎健	15	西陵中	森田直樹	28	松元中	遠矢麻亮
3	郡山中	狸々康吉	16	甲南中	眞邊蘭	29	谷山中	八藤丸皓
4	緑丘中	山切健二	17	天保山中	高吉健至	30	東谷山中	井元優平
5	吉野中	米徳ほのか	18	鴨池中	服部健紋	31	和田中	岩崎優介
6	吉野東中	居川清香	19	南原中	竹下翔太	32	福平中	中島美樹
7	坂元中	鶴田忍	20	紫原中	濱崎広野	33	錫山中	河野貴子
8	清水中	中安屋あおい	21	西紫原中	米満恵利加	34	谷山北中	井之村大
9	長田中	中安田洋幸	22	伊敷中	米満なつ代	35	皇徳寺中	石下谷詩
10	甲東中	中崎迫玲	23	伊敷台中	星昌中	36	星峯中	池田泰貴
11	城西中	中堂園萌愛	24	河頭中	川畑智彦	37	桜丘中	川田泰美
12	明和中	中久保田美穂	25	東桜島中	帖地巧	38	喜入中	中川麻美
13	武岡中	中前ヶ迫志	26	黒神中	有馬耕平	中学校コーディネーター38名		

【あいご新聞・あいご誌編集委員名】

所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名
広報部長	田中 建男	広報部員	宮元 加代	広報部員	下田 正美
広報副部長	迫田 正広	〃	宮寶 来良	市教育委員会	田淵 修保
広報部員	遠矢 仁司	〃	久永 美保	事務局 長	山元 保
〃	日渡 麻美	〃	柿元 まり子		

あとがき

ここ3年ほど猛威をふるっていた新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせました。これまで活動の自粛や中止を余儀なくされていたあいご会活動もようやく動き出した1年となりました。

あいご会には会員の減、役員となり手不足などさまざまな課題があります。それらの課題解決に向けて、「どうするあいご会？ あいご会シンポジウム」を初めて開催いたしました。6人のパネラーの提言のあと、フリートークを行いました。すばらしい実践や提言が出され、充実したシンポジウムとなりました。それを特集として取り上げました。

また、各校区あいご会や単位あいご会では特徴的な活動がなされましたので、それらも紹介してあります。あいご会は子どもたちにさまざまな体験をさせ、心豊かな青少年を育てることが大きな目標です。

ここに紹介した事柄を参考にいただければありがたいです。最後に、あいご会の頭文字「あいご」を使った言葉を紹介します。

- あ 遊び心をもって
- い いろんな体験をすることで
- ご ごはんがおいしいあいご会

あいご誌 第84号

発行	令和6年3月
編集	鹿児島市あいご会連合会
住所	〒892-0816
	鹿児島市山下町5-9 (中央公民館3F)
電話・FAX	099-226-6604
Email	aigo@po3.synapse.ne.jp
新ホームページ	https://aigo-kagoshima.org 

|